

尚 和 会 報 2013

平成25年5月1日

思い出とともに広がる同窓の輪



熱戦を終えて 平成24年8月7日



尚和会総会のご案内 平成25年5月19日 (日)

- ホテルアイボリーにて (豊中駅東口すぐ ☎06-6849-1111)
- ◆総会 オークキッドホール ... 12:00~12:45
- ◆アトラクション「桜塚高校軽音楽部OB」[とんぼりエンジェル] ... 13:00~13:30
- ◆懇親会 (食事はシッティング・buffestail ... 13:35~15:30)
- ◆お楽しみ抽選会
- ◆会費 4,000円 (2009年高61期、定59期以降の卒業生は2,000円)

<アトラクション出演者プロフィール>

- 桜塚高校軽音楽部OB
今年春卒業した高65期生の軽音楽部の面々の再結成、東京からも2名駆けつけての見事な演奏です。
- とんぼりエンジェル (メンバーの一人柴田綾さん 左から2人目 高57期生)
歌って踊ってコントする?! 大阪から日本全国を元気にしようとするマリザボイスのタレント集団で結成されたとんぼりエンジェル。
水都大阪船上ステージや、24時間TVイベントをはじめ、メディアにも多数出演!
CDデビュー曲は『新・たこやきのうた』。着うたや待ちうた、iTunesでも配信中です。活動拠点は、JR大阪環状線福島駅近くにある福島五丁目劇場です。
今回は、JPOPから昭和歌謡まで幅広くお送りします。
もちろん! オリジナル曲『新・たこやきのうた』も含めた“歌って踊ってコントする?! とんぼりエンジェル”にしかできないライブパフォーマンスを繰り広げます! お楽しみに!



Contents

尚和会会長・校長ごあいさつ.....	2
学校だより.....	3
母校クラブだより.....	5
投稿記事.....	7
尚和会通信・各期連絡先.....	11
役員紹介.....	12
尚和会決算・予算報告.....	12
同期会報告.....	13
尚和会の歩み.....	15
同期会開催予告.....	17
お便りから.....	18
平成24年度 新年理事会、評議員会報告 ...	20
教職員人事異動.....	20
物故者芳名簿.....	20
平成24年度会報代・協力金	21
平成24年度総会・懇親会	24

発行—— 尚和会

発行・編集責任者 大島 光昭 (高15期)

会長挨拶



尚和会会長
大畠 光昭
(高15期)

春暖の候会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年の桜の開花は例年より予想外に早いものでしたが、開花が早い年は景気の拡張期だそうで、アベノミクスに大いに期待したいものです。

平成二十四年度は、創立七十五周年の年で、記念事業として恩露園、恵風苑の整備を大々的に行いました。

府立高校の中では、これほどの緑の多い見事な庭園は数少ない誇れるものだと思います。

八月夏には、「岩手県大槌町復興祈念高校野球交流試合」を豊中市と共に母校が開催。母校野球部と岩手県立大槌高校野球部との曾根ローズ球場でのナイター試合は、手に汗握る好プレーでした。

両校の校章には共に桜があしらわれていることから、両校間で「さくら協定」なるものを締結され一連のイベントに尚和会としても様々なかたちで協力させていただきました。

近年、桜塚高校の地域連携・交流・貢献は著しいものがあり、尚和会としても今後の人的、経済的支援を続けていく所存です。

三年間の高校生活を送った生徒達が卒業と共に、尚和会の会員になることを思えば、母校の発展に寄与する支援活動は、近い将来必ずや彼等にも引き継がれて行くものと確信いたしております。

来る四年後平成二十九年の創立八十年に向け、会員相互、縦と横の絆を

確固たるものに深めつつ、尚和会の活性化を図る意味でも、今後共会員皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

ご挨拶



校長
加藤 孝之

尚和会会員の皆様には各方面でますますのご活躍、お慶び申し上げます。また、平素は桜塚高校の教育活動にご理解とご協力としてご支援を賜りありがとうございます。

この度、小山校長先生のご勇退の後を受けて4月1日付で校長として赴任しました。加藤孝之です。どうぞよろしくお願い申し上げます。私は2年前の平成23年4月1日に本校定時制課程の准校長として赴任しました。ですから、今回の異動は本校定時制課程から全日制課程への異動ということになります。小山先生とは随分以前から生徒指導関係の仕事で一緒に働いてきた機会に恵まれ、第2地区の校長会でも1年間一緒に過ごさせていただいておりました。そしてこの2年間はさまざまな面で支えていただきながら過ごして参りました。浅学非才な私には小山先生の後をお受けすることは身の引き締まる思いですが、会員の皆様をはじめ、生徒、保護者、地域の皆様のご期待に応えるべく最善を尽くす所存です。

私は豊中市に半世紀を超えて居住しており、豊中は私の第2の故郷（生まれば宮城県石巻です。）でもあり、以前から本校のことは地域から信頼されている素晴らしい学校であると感じておりました。小学生の頃には毎夏訪れていた木造校舎の周辺にあった恩露

園や恵風苑で時間の経つのも忘れて蝉取りに興じておりました。小さい頃から馴染みのある桜塚高校に赴任できまして、非常に嬉しく感じていました。そして、現在引き続き本校に勤務できることになり緊張感とともに精一杯頑張ろうと真摯に思っています。

本校定時制課程に赴任以来あつという間の2年間でしたが、この2年間は尚和会様からは、部活動の全国大会や近畿大会出場に際しての支援や進路指導室に設置しました空調設備への支援等数々のご支援を頂きました。改めてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、桜花爛漫うらかな佳き日、4月8日の入学式で361名の新入生を迎えました。新入生の表情には初々しさの中にもこれから始まる新しい高校生活へ期待する気持ちがいっぱい溢れていました。入学式の式辞では、「伝統を受け継ぎながら、桜塚高校の新しい歴史を自ら築き上げていくという意気込みを持って、学校生活を送ってほしい」、「入学それ自身が目的ではなく、新たな生活の出発点ですので、目標をもって学校生活を送ってほしい」、「皆さんが持っている力を十二分に引き出せるよう、学校での環境は整っています。後は、皆さんのやる気と行動力だけです。鍛えなければならぬのは今です。自分の限界はどこまで可能なのかに是非挑戦してください。」と話しました。みんな頑張ってください。

と思います。尚和会の皆様の母校に寄せられている思いを付度しながら、教職員一丸となって桜塚高校がさらなる発展をとげるよう努力してまいります所存であります。今後さらに努力を傾注することにより、先輩達の貴重な遺産を守りながら、発展を図ることが期待されていると認識しております。全日制

課程、定時制課程併置校の良さを積極的に教育活動に展開していきたい、オール桜塚をさらに充実させたいとも考えています。

まことに微力ではありますが、今後の桜塚高校のますますの発展の為に誠心誠意努力してまいりますので、尚和会会員の皆様には引き続きのご協力とご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

退任のご挨拶



桜塚高校前校長
小山 正辰

大畠会長様をはじめとする尚和会の会員の皆様には、3年間の校長生活の間に、比類なきご支援をいただき感謝の言葉がいくつあっても足りないくらいでございます。

4分の3世紀の歴史が数多の諸先輩を輩出され、その方々のお気持ちが私どもを支えていただきました。お会いした諸先輩は、皆様、学生時代を熱く思い出し、母校への愛着を語られます。それらを身に、心にうけとめつつ、

皆様の母校である桜塚高校が大阪、豊中の地に在って、何より生徒が躍動する活き活きした学校であること、地域の皆様と一緒に生徒の成長を見守り、貢献できることを目標に、数々の施策をとるにさせていただいた3年間でありました。

就任1年目、夏に越水様、広実様にお越しいただき空襲のこと「ほむら野の像」のこと語っていただきました。秋に東京支部の総会にお招きいただき、支部活動の活発さに敬服し、唐沢様、加藤様に人材バンクにご登録いただき後輩へのお気持ちをいただきました。就任2年目には、頓挫しかけた「大

職員室構想」を熱く強く支援いただき、完成に持ち込むことができました。教職員の世代交代の時期であり、生徒と教職員、教職員とOBや保護者、そして教職員間相互のコミュニケーションの活性化を図るに必須の環境づくりとなりました。

就任3年目には、観桜会、恵風苑・恩露園の散策道改修、大槌高校との「さくら協定」・交流試合支援、文化祭への尚和会出席など数多くの事業を本校のため、生徒のために進めていただきました。東京支部総会には軽音楽部を招いていただき、私の本まで宣伝いただきました。

語るべきこと、語らねばならないことまだまだ尽きぬような気がいたします。私も35年の教員生活を桜塚高校校長という名誉ある立場でつつがなく終えることができましたこと、感謝申し上げますとともに会員の皆様のご健勝と、尚和会が益々発展されますことを祈念してお別れのあいさつとさせていただきます。

着任のご挨拶

定時制の課程 准校長 大崎 年章

尚和会の皆様、平素は定時制の課程の教育活動にご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。私は、今年度から本校に准校長として着任いたしました大崎年章と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

私の前任校は、普通科総合選択制の府立大正高校でした。しかし以前には、府立春日丘高校の定時制に勤務したことがあります。定時制の実態については、私なりに少しは理解しているとは思いますが、各校の定時制はそれぞれの良さがあります。それぞれの文化を大切にしながら、より発展できればと願っております。

大阪府立高校の定時制の課程は、「昼間に働きながら高校に入学を希望する生徒の他、様々な目的や事情により夜間に就学することを希望する生徒など、夜間と言う条件の中で目的意識を持って学習する生徒の就学の場として、教育内容の充実を図る」ことを目的とし設置されております。

桜塚高校の定時制も歴史も古く、以前より面倒見の良い学校であるとの評判が聞こえて来ておりました。現在も、本校には中学を出たばかりの若人から、還暦を迎えられた年配の方までが在籍し、同じように机を並べ、お互いに助け合いながら勉学に励んでいると伺っています。そうした生徒、一人ひとりに寄り添い、丁寧な指導で生徒達の可能性を引き出し、将来につなげる事が出来たらと願っております。そのためにも、教職員が一丸となって全力で努力してゆく所存です。

また、本校の教育内容も「ゼロ限授業」「土曜講座」「モジュール授業」など多岐にわたっております。生徒達が将来に向かって、無駄なく学習を積んで行くことを願っています。

定時制の生徒達は就職を望んでいる者が多いですが、昨今の経済情勢は、まだまだ予断を許しません。どうか尚和会の皆様には、お力添えをお願いすると共に、今後とも全日制と同様、定時制の課程にもご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

学校だより

恵風苑、恩露園の再整備なる

高15期 会長 大島 光昭
創立七十五周年記念事業の一環として、昨年五月に恵風苑、恩露園が、こ



恩露園

恵風苑

れが公立高校の庭園かと思うほど、見事に再整備されました。

以前雨のあとの遊歩道は、鳩の水浴び場と揶揄されたものでした。遊歩道はバリアフリーになり、校舎から車椅子でも往来出来ます。

創立当時の旧木造校舎時代の両庭園は、創立五十周年記念事業として、現在のRC造校舎に囲まれた処に移設され、あれから二十五年経つての再整備でした。どうぞ卒業生の皆様、気軽に母校を訪問して、素晴らしい恵風苑、恩露園をお楽しみ下さい。

高65期 三年間を終えて

三孚年主任 木下 義男

65期のみなさん、卒業おめでとうございます。65期のみなさんは、すばらしい生徒達でした。素直で、優しく、思いやりがあって生活態度もしっかりしていました。おかげで、気持ちのいい三年間がおくれました。

比較的（かなり？）平均年齢の高い担任団。気持ちだけは、若い担任団。65期のみなさん、比較的高年齢集団との付き合い、いかがだったでしょう



恵風苑（西側）

恩露園のしだれ桜（H25. 3）

恩露園（東側）

手前の腰掛石は高15期生2名の寄贈

けいふうえん おんろえん
恵風苑（西側）と恩露園（東側）

桜塚高校の前身にあたる豊中高等女学校が造成された昭和13年（1938）、当時の保護会が二つの中庭を寄贈し、恩露園・恵風苑と命名した。恩露・恵風とは、紀伊（和歌山）出身の詩人菊池海莊が、明治維新の会津戦争の際歌った東北平定歌の中にある「恩露恵風戦塵を洗へば…」という平和の恩恵をよくすることを祝った歌にちなんでいる。1790年代に校舎が建て替えられ、旧中庭も解体されたため、1987年に二つの中庭が新校舎に造成された。恵風苑は、池と枯山水の和風庭園。恩露園は、春のしだれ桜が美しい。



か。三年間、悠長な、穏やかな時が流れたでしょうか。一年生の遠足、谷川にたくさんの鯉のぼりが泳いでいたキャンプ場での飯ごう炊さん。クラスのまとまりができました。二年生の修学旅行、スキーにデイズニールリゾート。あわただしかったけど、楽しかった。クラスのみんなの結びつきが深まったのではないのでしょうか。そして、三年生。学校の中心となって動いた体育祭と文化祭。クラスのみんなの力と活躍をみせてもらいました。三年生の最後の方は、進路のことで忙しくなりました。

65期生のみんなと三年間過ごせて、本当によかったです。楽しかった。65期生のみんなが、今も将来も幸せであることを強く願っています。

最終学年を迎えて

66期生学年主任 木本 直子

66期生が入学して、3度目の校の季節がやってきました。入学式がつい昨日のことのように思えるのに、彼らももう3年生です。

2年時には10月に修学旅行で宮古島へ行きました。3泊4日の旅のうち2泊3日をファームステイという形態で過ごしました。4〜6人のグループで農家に滞在させていただき、農作業を手伝ったり観光に連れて行ってもらったり、3日間家族の一員として過ごしました。このような体験は初めての生徒が多く、行く前は不安もあったようですが、実際に体験してみると、宮古島の自然と農家の方々のあたたかい人柄に触れ、忘れ難い旅となったようです。クラブ活動では中心的な役割を担う学年であり、運動部・文化部ともに熱心に活動し、さまざまな業績を残してくれました。

4月からはついに最終学年がスタート

トします。それぞれが自分の進路実現に向けて全力で立ち向かっていかなければならない時期がやって来ました。2年の3学期頃から徐々にそのような気運も出始めているので、それが学年全体に広がり、高まってくれればと思います。一人一人が自分の力を最大限に発揮し、進路の実現をしてくれることを願っています。私たち教員もできる限りの力添えをしていくつもりです。

ただ受験一辺倒になるのではなく、学校生活のすべてを大切にしたいと思っています。特に3年の1学期は勉強と体育祭とクラブの両立という困難が待ち受けています。でも忙しい中で級の友との協力や後輩の指導を通して、人間として大きく成長していくはずですよ。そういった経験が力となり、社会に出てからも役立つでしょう。またクラブや行事をやり切った人が良い進路結果を残しているという事実もあります。一日一日を大切に過ごし、悔いのない高校生活を全うして欲しいと思います。

63期4年間を終えて

63期生主任 片桐 亮太

平成21年度は、大阪府の私立高校の無償化制度が始まる前の年で、桜塚高校の定時制課程でも募集人員を越えての志願者がありました。今年卒業した63期生は、その時の学年です。

4年間を振り返ると、とてもにぎやかな学年であったことが思い出されます。学校行事に熱心に取り組み、文化祭では、2年生の頃から毎年、クラスの出展とは別に有志としての出展がありました。内容は食品模擬から緑日・ゲームなど多岐にわたり、たくさんの生徒が積極的に関わっていました。毎年夏に行われる球技大会、冬の送別行事では、上の年次に負けない活躍を見

せました。決して運動の得意な生徒が多いわけではありませんが、持ち前の元気さとチームワークのもと4年時には2つあるクラスのどちらもがそれぞれの行事において優勝を飾りました。春の遠足では、王子動物園や海遊館を訪れた他、3年生の時には、生徒の希望でならば、新世界散策といった大阪らしい遠足も実施しました。4年生では宝塚の施設でB・B・Qを行い、クラス入り混じって親睦を深めました。どこにいてもハメを外し過ぎず節度ある行動をとれるのがこの学年の特徴でした。3年生の沖繩修学旅行でも大きな問題はなく、参加した生徒も一番の思い出だと話しています。

定時制に通う生徒は実に様々な背景を持ってきます。一見して普通の子でも、皆何かしらの事情を抱えています。入学してしばらくすると、ここでは自分だけが特別ではないということに多くの生徒が気付きます。そうした環境で、お互いを認め合い、尊重し合いながら学校生活を送ります。4年間の担任を終えて本当に多くの生徒が入学した頃とは別人のようになって卒業していくことに気がつきました。本校定時制に通う生徒は、こうした様々な背景を持った人との関わり合いを通して他人を認めることのできる立派な社会人となって卒業していきます。自分にとっては教員生活初めての担任学年でしたが、彼ら・彼女らからはとても多くのことを学びました。

平成二四年度桜花祭

高19期 海老 一夫

平成二四年度の「桜花祭」(文化祭)が九月一五日、本校で開催され、尚和会は創立七五周年を記念して初めて参加した。尚和会館(食堂二階)のフロアーに、昭和一七年の発足時から現在

までの活動内容を歴史年表にして紹介。二〇年の空襲で亡くなった学徒動員戦没者(七人)「ほむら野にたつ」、二八年の熊本・阿蘇への修学旅行での惨事、堀が国の登録有形文化財となったのを記念した顕彰板の設置の三項目を詳しく説明した。また、故野曾原先生が撮影された旧校舎の様々な風景の写真パネルを公開。訪れたOBからは「懐かしい。木造校舎は風情があつて良かった」と高校時代を振り返っていた。同校に長年にわたって伝えられてきた「桜塚の七不思議」のコーナーも好評。「こんなにたくさんあつたとは知らなかった」との声も多く、「こんなうわさも聞いた」と新しく「不思議」を付け加えるOBもいた。

この桜花祭で久しぶりに出会ったOBからも多く、学生時代に戻って旧交を温めていた。大島光昭・尚和会会長は「初めての試みで、多少不安はあつたが多くの方が見学に来られ良かった。来年の平成二五年度も是非参加したい」と語った。

特集

平成24年度 大阪府民児協連
子どもさわやか賞表彰式

10団体が受賞

日時 平成24年11月21日 13時〜16時
会場 大阪国際交流センター大ホール

地域の皆様のおかげで

「子どもさわやか賞」をいただきました!

11月21日、平成24年度大阪府社会福祉大会が大阪国際交流センターにて開催されました。当日は、大阪府内の民生委員・児童委員をはじめ、多数の来賓が出席し、表彰式、記念講演等が行われました。



また本会では本年度より、「子どもさわやか賞」を実施。本賞は児童の生活が困難な状況にあっても家庭や学校において積極的な生活を送っている子どもや、自主的に地域活動やボランティア活動にいそいそと取り組む子どもたちに対して、大阪府民生委員児童委員協議会連合会から贈られる賞です。本年度は福祉活動から被災地支援まで幅広い活動に取り組み

府内の10団体が受賞し、大阪府社会福祉大会にて表彰式が行われました。

表彰状授与式では、10団体を代表し大阪府立桜塚高等学校が表彰状と盾を授与されました。

本賞は、子どもたちのさわやかな活動をさ



大阪府立桜塚高等学校の生徒代表
3年 雨宮夕夏さん



らに府内に広げていくため、来年度以降も継続して大阪府民生委員児童委員協議会連合会にて表彰していく予定です。来年度のさわやか賞の表彰については第65回大阪府民生委員児童委員大会（5月15日開催予定）にて表彰いたします。なお団体の活動については今後もさわやか賞受賞にて紹介してまいります。

主な学校行事

平成二十五年度主な行事

校内理事 桑田 誠

在校生の元気な姿を見て来て頂きたく思います。

- 【全日制】
- 6月3日～6月14日 教育実習期間
- 6月6日(木) 体育祭 (予備日は7日)
- 7月19日(金) 終業式
- 8月21日(水) 授業開始
- 9月14日(土) 文化祭
- 11月2日(土) 学校見学会
- 11月17日～20日 2年修学旅行
- 12月24日(火) 終業式
- 1月23日(木) 1年合唱コンクール
- 2月28日(金) 卒業式

【定時制】

- 20日(木) 終業式
- 5月18日(土) 遠足
- 6月19日～25日 授業公開
- 7月 8日～18日 球技大会
- 8月29日(木) 授業再開
- 10月4日(金) 前期終業式
- 8日(火) 後期始業式
- 9日～15日 文化祭準備期間
- 17日・18日 文化祭
- 10月29日～31日 3年修学旅行
- 1月8日(水) 授業再開
- 2月28日(金) 卒業式
- 20日(木) 終業式

この一年間の進路状況について

進路指導部長 谷口 亮

今年卒業した六十五期生も、長期にわたる入試の日々を最後までよく健闘し、多くの生徒が希望進路を実現しました。また、就職希望の生徒も、粘り強くがんばり目標を達成しました。また、看護など専門学校にも順調に合格しました。

今年度は、十八歳人口の増加に伴い、多くの大学で志願者が10%程度増加するという厳しい状況でしたが、よく健闘したと思います。数年ぶりの大阪大学現役合格など国立も去年以上に合格者が出ました。私学では関西学院大学の合格者が大幅に増加しました。関関同立合格者数は現役のみで一七七名で過去十年間で最高を記録しました。東京方面では、明治大学、中央大学などに合格しました。

二〇一三年度入試合格者数(浪人含む)

国立大学	主な私立大学	
大阪大学	1 関西大学	82
大阪教育大学	2 関西学院大学	71
滋賀大学	1 同志社大学	19
奈良教育大学	1 立命館大学	24
大阪府立大学	3 甲南大学	12
大阪府立大学	3 龍谷大学	37
福井県立大学	1 京都産業大学	18
鳥取県立大学	1 近畿大学	110
山口県立大学	1 武庫川女子大学	30
	追手門学院大学	9
	摂南大学	16
	関西外国語大学	21
	大阪経済大学	23

母校クラブだより

女子ハンドボール部

顧問 桑田 誠

今春卒業した65期生は18名の大所帯

でした。仲が大変よく、非常ににぎやかに活動をしましたが、残念ながら中央大会には進出できませんでした。それでも学校行事には積極的に参加してくれ、また、3年間退部者が出ませんでした。部活を続けられたことに誇りをもってこれから頑張ってもらいたいです。

陸上部

部長 井口 諒

現在、桜塚高校陸上競技部は4人の顧問の先生方と50人近くの部員で活動しています。陸上部では「みんなで練習をする、みんなで試合に挑む」という姿勢を大切に毎日活動しています。昨年8月におこなわれた「大阪高校総体」では多くの部員が個人種目で出場しました。そのなかでも男子4×100mリレーにおいて決勝進出を果たしました。惜しくも近畿大会は逃しましたが、「強豪校がいるなかでも桜塚はしっかり闘うことができる」ということを走った4人が証明してくれました。これからもみんなで切磋琢磨して、それぞれの目標に向かって全力で走りたいと思います。

家庭科部

部長 名越 めぐ

こんにちは、家庭科部です。私たちはこれまでに豊中市の老人ホームの方に手編みのコースターを送ったり、小学生対象の料理教室でアシスタントをしたりしてきました。文化祭では、最近では手作りクッキーを作っています。それは毎回人気ですぐ売り切れます。

普段は2年生5人、1年生6人の部員11人で楽しくお菓子を作ったり、裁縫をしたりしています。

HOTEL IVORY
同窓会、OB・OG会プラン
記念の集合写真付き

お料理+お飲物+集合写真
お一人様 苺6,000～

3人数限定!
20名様以上より!

上記プラン以外にもメニューを豊富にご用意しております。
ご予算面につきましてはお気軽に係までご相談下さい。

メニュー例 (円卓料理)
・焼肉の焼製ケサダ仕立て
・鮎、鰻八、鰻の盛り
・イカと豊野菜のトマト煮込み
・新撰米の塩焼ロースト
・五目巻餅とミニ焼魚焼肉揚げ
・香りのオイスターソース炒め
・唐揚げ合わせ
・フルーツ盛り合せ
・コーヒー

ホテルアイボリー 予約直通 Tel: 06-6849-5040

ベーカリープラザ

出口 敏雄
(定25期)

〒561-0813 豊中市小曾根1丁目24-9
TEL 06-6334-2907

女子バレーボール部

部長 松原 彩花

私たち『女子バレーボール部』は、1年生11名で活動しています。先輩がいない中、ここまでがんばって来ました。練習はほぼ毎日ありますが、平日は6限の日は2時間、7限の日は1時間しか練習できません。

夏は全く勝てませんが、秋の秋季部別大会で4部優勝(3部昇格)、冬の第10回コンフェデレーション杯で優勝するなど力を付けています。

これからも皆で力を合わせて頑張っていきます。応援よろしくお願いします。

男子ハンドボール部

マネージャー 林 明代

池田絵里奈

男子ハンドボール部は部に昇格してから1年が経ちました。現在、部員14名、マネージャー2名で活動しています。皆、仲良く毎日楽しく練習しています。なんとか大阪中央大会をめざして頑張りたいと思います。

イラストレーション部

部長 野々山綾乃

私たちイラストレーション部は、毎週火・水・木曜日に活動を行っています。部員同士の仲もよく、先輩後輩関係なくとても楽しいクラブです。最近学校や地域に貢献できるよう、遅刻防止を呼びかけるポスターや商店街のマップ作りなどにも取り組んでいます。決して多くはない部員数ですが、それでも毎日和気あいあいと、学校にも地域にも恥じない活動を目指しています。

卓球部

三浦 徳真

部員は1年5人、2年4人(201

2年度)で活動しております。人数は少ないですが、その分場所を広く使って活動できています。

練習メニューは、始めの40分くらいはフォア、バックラリーをしてその後30分(土日は1時間以上)はみんな考えたメニューなどをします。

最後余った時間で試合練習をするといった感じです。

今年の大きな公式試合は5月、7月、8月にありますが、5月は3年生にとっては最後の引退試合になるので、悔いのないよう部員一丸となって頑張っていきたいと思っています。

体操部

部長 安永 圭蔵

現在体操部は、男子10人女子11人で活動しています。先輩方に器具を購入して頂いたおかげで、前回の大会では男女共に入賞することができました。

部活の雰囲気も明るく、やるときは真剣に取り組み、みんな楽しく練習しています。去年は耐震工事によりできなかったOB・OG会も今年を行う予定ですので、どうぞお越しくください。

軽音楽部

顧問 久谷 秀明

軽音楽部は現在1、2年生計59人で活動しています。普段のバンド活動と並行して「地域密着型軽音楽部」も目指して活動しています。昨年、地元商店街の応援ソング「おかまち桜いろ」を制作しました。商店街でも流していただいています。曲はYouTubeにアップしていますので是非聴いてみてください。また、今年は豊中市の若者をテーマに「アンカー」僕らの町豊中」も制作しました。自分たちの曲を沢山の人の聴いていただきたいと日々頑張っています。

剣道部

部長 神例 真衣

私たち剣道部は2年生2人、1年生5人で毎日活動しています。

少人数ではありますが、「気」を大切に大きな声で、日々稽古に励んでいます。

先生との稽古はとても刺激的です。また桜塚剣道部独自のアップは、スピード・体力向上のために欠かせない大事なメニューの一つです。

日々の稽古は自分自身との戦いであり、終わった後の達成感はとても大きなものです。

8月には、最大イベントである4泊5日の夏季合宿があります。

みんなの絆が深まり、団体としてのチーム力が強まります。

チーム一同インターハイを目指して頑張っています。

水泳部

部長 坂本 雄也

私たち桜塚高校水泳部は、選手22人、マネージャー2人で活動しています。夏は試合が多く泳ぎこむ日が続きますが、合宿という楽しい行事もあります。冬は、筋トレが中心となり寒い中ひたむきに頑張っています。簡単に一年の過程を説明しましたが、他にも楽しい事はたくさんあります。

得意、不得意は問いません。水泳に興味がある方、これを見て興味を持っていた方、是非、桜塚高校に入学して水泳部を訪ねてみてください。

美術部

部長 下野 唯

こんにちは、美術部です。美術部では毎年夏には高校展、冬には芸文祭とブロック展に作品を出展しています。普段の美術の授業と違い、

大きいサイズのパネルで作品を制作していますので、足りない時間は長期の休暇期間などを使い、一人一人自分の作品にじっくりと時間をかけ、納得するまで仕上げるようにしています。

その他に、学校行事などで葉や近くの商店街の横断幕、ポスター制作など依頼されることもあり、部活動は一年中充実しています。美術部では上下関係無く、先輩後輩仲良くしています。お時間があるときに是非とも遊びに来て下さい。

バドミントン部

部長 阪田 恵理

現在バドミントン部は、女子16人、男子2人の18人で活動しています。豊能地区大会や大阪府の大会へ向け日々活動に取り組んでいます。今年度は、豊能地区 上級の部でダブルスシングルス共に準優勝。

大阪府の大会でシングルスベスト32などの成績をのこしました。

主に休日の練習では先生も来ていただき熱心に教えて下さります。

先輩と後輩の仲も良いので毎日練習があり大変ながらも楽しく活動することができています。

柔道部

主将 杉池 佑太

現在、柔道部は顧問の先生2名と、部員2名の4名です。部員は、1年生ばかりですが、指導者の下で切磋琢磨しています。練習は、平日毎日練習しており、休日は他校との合同練習を盛んにしています。また、今年の夏の市民大会では、豊島高校と合同チームで出場し、準優勝という結果を残しました。平日部員は少ないですが、これからも頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。

発達に関する障害を持つ子ども、若しくはその心配のある子どもたちを放課後や学校長期休業期間にお預かりし、ご家族と共にひとりひとりの成長や発達についての支援を行っております。

個別の成長課題に沿った家庭や社会生活面に関する訓練や、学校からの課題を行ったり、集団での遊びを通して社会性を育むことが出来ます。

豊中から児童福祉ルネサンスの風を！
2013を福祉ルネサンス元年にしたい！！
興味のある方もご連絡ください。
<http://www.houkagoday.jp/>

代表理事 岡本紀一 (高29期)
〒560-0056 豊中市宮山町1-8-32 TEL 0120-68-3035

放課後等デイサービス
シュ シュ
chou chou
一般社団法人
パクスの放課後等デイサービス
ご利用希望者募集。

投稿記事

北村敏子(現・小河)先生のご遺族から

尚和会 会長
大島 光昭 様

前略 七き母敏子のお別れの会が三月二十九日、三十日にとり行われ、無事に終了しました。
沢山の親戚の皆様に見送られ、母も幸せだったと思います。
九十七歳と五カ月の長寿を全うし、たくさんの思い出を残して旅立ちました。家族のわれわれは寂しい気持ちはありませんが、母に感謝しなければならぬと思っております。
大島様には資料を送っていただくだけではなく、お香典までいただき恐縮しています。

母は満州からの引揚者で、敗戦後、着の身の着のまま帰国しました。そのためほとんどのものは満州に置いてきてしまっていました。教職にあった話は聞いていたのですが、その様子を示す写真は全くありませんでした。今回、大島様のお陰で、母の教師としての姿を見ることが初めてできました。資料は早速仏前に供えました。

母は無宗教の人で、葬儀は家族葬になりました。そのため、母の生涯の様子をまとめた写真資料などを参会者の皆様に見ていただきました。この資料は残念ながら今回は間に合わなかったのですが、納骨や一周忌の時には間に合います。母の生涯をまとめた資料を作っていますので同封します。おかげさまで教師としての活動の様子を伝えられるようになりました。まだ編集の途中ですが、一郵お送りしますのでご覧ください。

世話好きで、おしゃべりで、食いしん坊だった母は、年をとっても私たち家族の柱でした。また、家族をつなぐ大切な存在でした。
残されたわれわれ家族は、母の残してくれた家族の絆を守りながら、母に取じない人生を送って行きたいと思っています。同窓会の皆様、校長先生をはじめ今回お世話になった先生方によりしくお伝えください。 筆々

小河 直孝

小河敏子の思い出



平成21年9月 目白台の自宅で



府立豊中高等女学校 (現・桜塚高等学校) 時代



大阪府立豊中高等女学校校舎



両親、かほるさんとともに 昭和10年ごろ



兵庫県伊丹市稲野町時代 妹のかほちゃんと一緒に



満州遼寧省本溪で育つ 兄の真琴さんと両親との記念写真 大正3、4年ごろ



昭和38年頃



子育て時代 昭和35年ごろ



直人さん、子どもたちとともに 昭和33年ごろ



昭和16年 1年生い組写真



直人十七回忌法要終了後 記念写真 (川越) 平成21年



病院の帰りに後楽園で藤を見る 悪性リンパ腫の治療に東大病院に通う (平成18年ごろ)



旧古河庭園でバラを見る



昭和54年頃 孫の健太郎、直彰と



昭和45年頃 結婚30周年記念



平成22年8月4日から病院での闘病生活が1年8ヶ月続きました。お見舞いに来ていただき本当にありがとうございました。

本人の希望で花は明るい紫やピンクのものが多くはなやかに 妹のかほるさんとお別れました。(祭壇右に敏子の俳句左に絵手紙などの作品)
平成24年 3月29、30日 本人の強い希望で無宗教によるお別れ会になる



故北村敏子先生を偲んで

高29期 山澤 健二

大島会長が執筆した、昨年の会報記事(9頁)を読まれた高女五期・和氣(旧姓中村)恭子さんから電話をいただきました。故北村先生と親しかった、高女三期の梶田美智子さんが、会報が到着した日に他界されたとのお話でした。

北村先生と高女東京組とのお付き合いを旧職・高女三期の武田昌恵さん(仙台在住)が、お手紙で知らせてくださいました。心に響く内容です。『四月三十日、尚和会の会報が届きました。』

年一回の会報は、母校の様子にふれて、大阪を放れて六十余年の私にとって、大変なつかしい待ち遠しい、嬉しい事でございます。

震災から一年、やっと落ち着きを取りもどした今年の会報は、心にじんと沁みる物がございました。

〃お便りから〃の頁に、高女三期の梶田美智子様の〃在京三期一同連絡を取り合って、元気です〃とありましたのに、会報の着いた夜、御息様から連絡があり、当日亡くなっておられるのが判りました。

彼女は私共高女三期の東京組のお世話を全部引き受けておられ、会報にありました、北村敏子先生も彼女のお世話で、私共の同期会には先生をお招きして、楽しい食事会等何度か開きました。御高齢の先生を車で御送迎し、梶田様宅での食事会。ニューオータニでの大阪、東京合同の同期会等にも御出席いただき、昔話に花を咲かせ、梶田家のお庭で写真をとったり、楽しい時間を過ごしました。

先生からは、お手製の〃針山〃、〃しほり〃等それぞれに戴き、今も大事に使わせて頂いております。

くしくも会報の着いた日に美智子さんが亡くなり、先生のご逝去を知ることになって、人の世の不思議をしみじみ考えさせられる事になりました。

私共、三期生は、北村先生には担任もしていただき、博物の授業も受けました。凜として、美しく気品のある先生でございました。工場動員、卒業、進学、挺身隊とバラバラになって消息

もわからぬまま、終戦となり、先生が満州からお引揚げになった事等、始めて知りました。御苦勞もあつたことと思いますが、今、尚、歳を重ねられても、かくしゃくとして、気品のあるすばらしいお姿でいらつしゃいました。

先生のご逝去と、美智子さんの突然の訃報とで混乱しておりましたが、四月三十日は、忘れることの出来ない日になってしまいました。

素晴らしい先生と、友達を持った豊女卒業した事、誇りとして、今後の余生を生きたいと思っております。

これから先も年一回の会報を楽しみに待っております。

平成24年 五月三日 かしこ

以上です。北村敏子先生と梶田美智子さんの冥福を心よりお祈りいたします。

高女1期 吉岡萬里子

毎年尚和会の会報ありがとうございます。

段々と遠くなりつつある高女一期生再び思ひ出しまして筆をとりました。私事ではありますが文箱にしまつてあります。

故中山与志夫先生(竹経)かな文字

の美しい先生(長らく新潟の村長さんをして居られました)の毛筆のお手紙。故野曾原先生 石造美術でお世話になりました。又それぞれ毛筆のお手紙

共に大切にしまつて思ひ出しては文箱の蓋をあけて、なつかしさがこみあげて一昔以上の思ひ出としてほこりに思つて居ります。

余分な事ですが、故北村先生のお写真、高女一期生卒業写真に美しく残つて居ります。

早く分つて居りますればお役に立てましたでしょうに残念であります。今後とも尚和会の会報楽しみに致して居ります。戦時中に卒業致しました一期生。楽しい思い出?それなりに思い出しかありませんが……

今後とも尚和会の会報お世話になります。思い出は遠く近くにありながらめぐり来れる春夏秋冬

乱筆で失礼致します。

高女七期生 マチコ・クスナ エニリニ様(旧姓片桐)

高女6期 矢口美代子

マチコさんは大阪に生まれ終戦後まもなく同志社大学女子専門学校英文学科に入学。

大学時代当時南方留学生として同志社大学に留学していたクスナエニさんと出会い、五五年、西ジャワ州バンドンで結婚。敗戦国民であれば冷視されること多く、大変な苦勞もあつた

中、日本人としての自覚を持ち公職のご主人様を支え駐日インドネシア大使館公使として日本にもご主人様と共に来日されました。何ヶ国か赴任の度ご

同伴される中、家にあつてはお嬢さん二人と男の子を養子として立派に育て

られつつ、インドネシア国営ラジオ局(RRI)の海外放送日本語番組の記者、番組制作者又アナウンサーをして一九七七年一〇〇四年迄、二十七年

間インドネシアの素顔を電波に乗せ美しい日本語で日本へ伝えていきました。日本とインドネシアの友好親善に多大

な貢献を果した功績にて二〇〇八年十月二日インドネシアから表彰されました。又二〇一〇年には、日本で「春

の叙勲」旭日単光章を授与されました。当時七十九歳、因にご主人様は二〇〇四年に旭日中綬章の受賞の榮に浴

されました。リニ様受賞の折は皆様お元気でいらしたのですが、ご主人様、二女の方が続してお亡くなりになりました。リニ様は体調崩されましたが長

女のご主人外交官が帰国となり元気をとりもどしました。養子の青年も教育を受け成功者となるもお母さんお母さんと慕ふ人でお幸せにジャカルタで、お暮しでいらつしゃいます。

この様な心遣いを常に忘れずにいらしやいました。

マチコさんは、将来の両国の架け橋となる若者へ向け「小さなことにも感

謝する心や『ありがとう』の言葉が大切です。人の心に思いやる人間に育てほしい」と啓蒙されていきました。

高4期 林 正宏

前略

毎年このゴールデンウィークの連休中に到着する『尚和会報』を、楽しみにしており、今年も、早速、懐かしく拝見しました。

来年には、傘寿を迎える年齢になつても、母校は懐かしい思い出の故郷です。思えば、私たちは、子供の頃に唱歌で歌われた「トントンお肩を叩きま

しょう」と、縁側で日向ぼっこをして、孫に肩叩きをしてもらつて居る、あの昔で言う『良い歳の おじいちゃん・おばあちゃん』になりましたが、この

時だけは、一瞬にして、六十数年前の青春時代に戻ります。同窓の皆さんの消息も、母校の現状も、今では、年一

回の尚和会報と年賀状だけで、僅かに知るのみですが、その都度、当時の思い出は限りなく拡がって来ます。『思い出は 何時までも そのままに』の心境です。

WEB版非公開

学制改革・男女共学に伴い、昭和23年（1948年）4月19日に、豊中学・池田中学・豊中高女・豊中市立高女の四校が一緒になり、入学式が、桜満開の校庭で行われました。

あの顔が映るほど綺麗に磨かれていた廊下を、我々男子生徒は、初めての掃除の時に、バケツの水をざつぱんと流してタワシで擦り、一度に艶がなくなってしまう失敗も思い出されます。女子の上級生に白い眼で睨まれて、後で聞くと、戦時中も女生徒達が毎日、椿の実や糠袋で空拭きをして磨いていたとの事。豊中学の廊下掃除は水を流すのが当たり前でした。

それにしても、先生方も友達も、直ぐ今思い出されるのは、名前よりも『綽名・風貌』です。誰が命名したのかは、不明ですが、いずれも、中々の傑作揃いで、当人には、真に申し訳ない失礼な綽名が多かったです。記事を、めぐり、写真を眺めて懐かしんでおります。

- 1) 井上まさ先生のお元気なご様子が「高女六期生同窓会」「会報代協力欄」などで伺えました。小生の知る唯一健在な先生です。益々長生きして下さい。
- 2) 「しだれ桜鑑賞会」の写真が素晴らしいかったです。毎回、母校の教室や施設も紹介して下さい。
- 3) 「岡町・桜塚商店街」の写真が、懐かしく、よかったです。
- 4) 「現役進路状況」↓関・関・同・立・近畿・龍谷が多いのに驚きました。
- 5) 「クラブだより」↓バレーボール部に4年間在籍して、卒業後も現役指導に足しげく通った事もあ

って、男子バレーが部員21名もいるのに驚き、女子3名にも驚きました。女子頑張れ!!

6) 「母校初代女性理科教師」↓いろいろな思いで読ませさせていただきました。中々出来ない事をしていただけ役員のご努力に感謝いたします。

7) 「お便りから」↓皆様の尚和会報と母校への思いが伝わってきました。

8) 「物故者芳名」↓あの人が、亡くなったかと寂しくなります。

末筆ながら、尚和会役員の皆さんの格別のご尽力には、ただただ感謝するのみで、小生に出来る事は、僅かに『協力金』を拠出する位です。皆様には、くれぐれも、宜しくお伝え下さい。益々のご健勝を祈念いたします。

草々

山澤副会長が一日消防署長に!!

平成二十五年三月三日（日）晴天に恵まれた千里セルシー広場にて「とよなか消防展2013・東日本大震災からもうすぐ二年、元気を発信しよう!!せんちゅうから」（主催・豊中市北消防署、共催・豊中市、豊中市社会福祉協議会）が開催され、高二九期山澤健二副会長が、笑福亭仁勇師匠の名で一日消防署長に委嘱されました。

本職の落語家として「笑福亭仁勇防火防災よもやま話」を披露され、大勢の来場者の笑いを誘う楽しいトークショーでした。また、母校の吹奏楽部も防火コンサートとして出演。見事な演奏を市民に聴かせてくれました。

（文責 大島光昭）



委嘱状授与 千里セルシー広場にて



山澤副会長（笑福亭仁勇）

我が家がテレビドラマの舞台に

報告者 高15期

広報委員長 大島 光昭

昨年平成二十四年十一月五日（日）毎日放送月曜ゴールデン番組として二時間「遺品整理人 谷崎藍子Ⅲ」が放映されましたが、ドラマの中での五十年前の回想シーン撮影が、同窓生定七期岸本 弘氏の自宅他で行なわれました。

岸本氏の自宅は、農水省の「日本の棚田百選」にも認定された、美しい景観が残る大阪府能勢町長谷棚田地区に



大杉漣さんと高畑淳子さん



高畑さんを囲んだ岸本さんの家族



岸本邸



田植後の長谷棚田地区
左が岸本邸



撮影風景



ドラマのワンシーン



ヨーイ!! スタート前



冬景色の岸本邸



5月の岸本邸



50年前の初代トヨベツクラウンも登場

あり、数少ない茅葺き屋根の古民家です。

制作スタッフが最初にロケ地としての交渉に岸本宅に来られたのは三月末。撮影は五月中旬から八月上旬迄、昼夜兼行で続けられ、多い日は六十名程のスタッフと撮影機材で、広い庭も大変な混雑ぶりだったそうです。

出演者は高畑淳子、大杉漣、矢崎滋、加賀まりこなどの大物俳優ばかりで、ご本人の岸本氏も高畑さんと共演され名演技ぶり？を披露されました。そのシーンのセリフは

……田んぼ道を農夫（岸本さん）が 鎌を持って歩いてる。うしろから藍子が声をかける

藍子（高畑さん）

「ちよつと貴方、この写真の方知りませんか？」

……農夫、ちよつと考えて 農夫（岸本さん）

「知りませんなあ〜」

（ハイ！カット、OK！）

岸本氏お住まいの長谷棚田地区は、田に水を張っての田植時期、稲穂の実る秋、冬の雪景色、四季それぞれ、日本の原風景が残る素晴らしい地域です。是非一度訪ねてみてはいかがでしょう。

（写真は岸本氏からご提供を受けました。ちなみにこのドラマの視聴率は12・5%だったそうです。）

総合司会の大役を終えて

高57期 柴田 綾

二〇一二年八月七日に行われた「大槌高等学校と桜塚高等学校による岩手県大槌町復興祈念高校野球交流試合」の司会をさせて頂くと決まった時、沢山のご縁に感謝するとともに、様々な

ご縁のつながりで実現したこの交流試合が成功するよう、精一杯心を込めて司会をしよう！と心に誓いました。

今回、なぜ私が司会をさせて頂くことになったのかといいますと、毎年五月開催の尚和会総会に参加していた私が、マリンザボイスという事務所で司会業をしていると大畠会長にお話ししたところ、総会アトラクションの司会をしてみないかと勧められ、さらに今回の交流試合の司会をと、大畠会長が小山校長にご紹介下さったのです。ご縁をつないで下さった大畠会長に本当に感謝です。

今回のこの交流試合も、沢山の、本当に様々なご縁のつながりから実現したとお聞きしました。八月七日の前日六日には交流会が行われ、大槌高校と桜塚高校は「さくら協定」を締結されました。私は交流会の司会もさせて頂いたのですが、東日本大震災発生時の大槌町への豊中市の迅速かつ継続的な支援、そのご縁から「豊中市ボランティアバス」の派遣につながり、桜塚高校と大槌高校との交流が始まったこと：人と人との絆の深まりに司会をしながら本当に心が熱くなりました。

七日の試合当日の豊中ローズ球場は、沢山の観客の方が集まりました。復興支援の物産展や大槌町への義援金募金のブースも人で溢れていました。

（沢山の人の心がひとつになるよう笑顔で精一杯司会をしよう！）

これが私の目標でした。しかし、豊中市役所の方、桜塚・大槌高校の先生方、生徒達、そして観客の方々の笑顔のキャッチボールを見て、私のその目標は自然に達成していました。そう、会場はもう、すでに心がひとつになっていたのです。

（今ここに居る全ての人の心に残る一日になるような司会をしよう）

私はその一心で、司会を続けました。試合は、桜塚高校は九回表まで大槌高校を無得点に押え六ポイント。ところが九回裏の大槌高校の反撃は圧巻で、五点を返されましたがゲームセット。

「何が起るかわからないが、最後まで諦めないこと」という大切なメッセージを、深いご縁でつながった球児の皆が教えてくれたように私は感じました。

試合前の両主将の今後の友好を誓う握手や、浅利豊中市長・桜塚の小山校長・大槌の山形校長による始球式：試合が終ってからもいろんな事が頭の中に蘇り、このご縁が私たちになった「さくら協定」の締結をした両校の交流がこれからも続き、広がるようにという思いを込めて試合の締めのアナウンス司会を終えました。

今回のこの交流試合の司会をさせて頂いたことを振り返って、桜塚高校と大槌高校の絆は本当に強く深まったと感じました。試合が終わった後の球場での写真撮影風景、関わった全ての方々の笑顔は忘れられません。岩手県大槌町の方々の笑顔ももっと沢山見られるように、これからもこのご縁を大切にしながら支援を続けたいと思います。

そして：桜塚高校と私自身との絆もさらに深まったと感じています。これからもご縁を大切に、感謝の気持ちを忘れず、桜塚高校の卒業生だということに誇りを持って、夢に向かって前へ進んで行こうと思います。貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございます！



TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	R	S	H	E	P
桜塚	0	2	0	0	2	1	1	0	1	6	16	3	0	0	0
大槌	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5	5	0	0	0	



始球式前の向って右から 小山校長、浅利豊中市長、柴田さん



両校交流会、さくら協定締結式にて（8/6）

葬 祭 式 場

加納会館 本館



豊中市中桜塚2-12-2 (豊中市役所筋向い 国道176号線沿)

加納会館ファミリエ



豊中市中桜塚5-15-3 (豊中市役所交差点から東へ500m)

加納会館 今宮



箕面市今宮3-2-13 (今宮交差点東へすぐ 国道171号線沿)

会員募集

レリーフクラブ…

万一の時にご遺族のご負担を少しでも軽くするためのシステムです 詳しくはフリーダイヤルへコール

株式会社 加納 ☎ 0120-096-940

代表取締役 上村 学 (高17期)

尚 和 会 通 信

一、尚和会報有料制について

今、お読みの尚和会報は有料制度です。年間千円（同封の振込用紙にてお振込み下さい）払込用紙紛失の方は郵便口座番号00930331860加入者名「尚和会」宛お願いします。会報發送者・会報千円及び協力納入者に限り翌年発行の会報を送付いたします。

二、尚和会報の無料配布

その期が、卒業後五年経過ごとに、住所判明者を対象として全員に送付します。また、卒業後五年間は全員に送付します。

三、「同期会開催支援助成金制度」

・助成金交付対象期

尚和会会員が同期会を計画、開催実施しようとするもので、その同期会が卒業後5年を経過した年及びその後5周年単位毎の年の四月一日から翌年三月三十一日までの年度内に開催される期であること。なお、卒業後最初の同期会は右記の周年でなくても助成金を交付する。

・助成金の額

五〇、〇〇〇円とする。

・申請の手続き

開催する同期会の代表幹事が書面（同期会助成金交付申請書）にて、尚和会会長宛に同期会開催一ヶ月前迄に提出又は郵送する。（申請書用紙は会長宛請求のこと）

・助成金の交付

「同期会助成金交付申請書」受理後

速やかに同期会開催迄に支払う。

なお、同期会に対する助成は同じ期が同じ周年時期に複数の場所で開催されても、尚和会からの助成金交付は、その期に対して一回限りです。また、クラス単位での開催も対象外です。

四、在校生クラブ活動に報奨金制度

クラブ活動に顕著な成績を残したクラブに、活動費の一部を助成する制度です。助成対象は府下大会及び近畿大会にて優勝またはそれに準ずるもの、又は全国大会出場の場合とします。在校生諸君の活発な活動を期待します。

平成25年度「同期会開催支援助成金」を受ける事の出来る期

高女2	高5	高10	高15	高20	高25	高30	高35
高40	高45	高50	高55	高60	高65	定8	定13
定28	定33	定38	定43	定48	定53	定58	定63

「同窓会開催支援助成金」は、
 1.卒業後初めて開催する同期会に交付します
 2.卒業後5周年以降に5年毎に開催する同期会に交付します(上記の期が対象です)
 (例卒業後8年目に初めて同期会を開催し助成金を受け取りましたが
 続けて卒業後10周年にも開催することになりました……
 この場合も助成金は受け取れますから申請して下さい。

各 期 連 絡 先

期 氏 名 電 話	期 氏 名 電 話	期 氏 名 電 話	期 氏 名 電 話
<div style="font-size: 48px; color: #e91e63; opacity: 0.5;">WEB 版 非 公 開</div>			

尚和会 平成24年度決算報告書・25年度予算

[収支決算] (自:平成24年4月1日 至:平成25年3月31日)

(単位:円)

Main financial statement table with columns for Category, Budget, Actual, Variance, Remarks, and 25th Budget. Includes sections for Income (収入の部) and Expenses (支出の部).

[貸借対照表] (平成25年3月31日現在) (単位:円)

Balance Sheet table with columns for Assets (借方) and Liabilities (貸方), listing items like Cash, Accounts Payable, and Loans.

以上、決算報告いたします。 決算に対し監査の結果、誤りの無いことを報告します。
平成 25年 3月 31日 平成 25年 3月 31日
財務担当副会長(定13期) 中岸 澄江 ㊟ 会計監査(定13期) 塚本五十鈴 ㊟
会計(高29期) 旭 直子 ㊟ 会計監査(高31期) 佐藤稚加子 ㊟
会計(高30期) 中村 三枝 ㊟

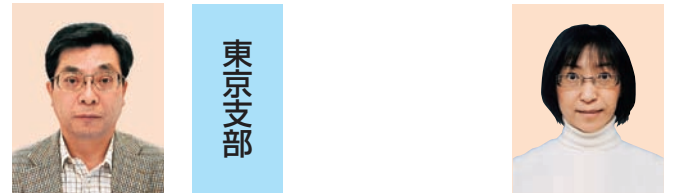
尚和会役員(平成25年度)



副会長 副会長(行事担当) 副会長(財務担当) 会長(兼広報担当)
高19期 高15期 定13期 高15期
大岩 正明 南 正枝 中岸 澄江 大島 光昭



会計監査 会計 会計 副会長(総務担当)
定13期 高30期 高29期 高29期
塚本五十鈴 中村 三枝 旭 直子 山澤 健二



支部長 会計監査
高14期 高31期
北村 正和 佐藤稚加子

辞任
・副会長(広報担当) 高崎 健治(高37期) H24.12.31付

平成25年度 評議員会及び理事会開催予定日

評議員会

- 第一回 平成25年 9月 7日(土) 会費制 会場未定
第二回 平成26年 1月12日(日) 新年評議員会 会費制 会場未定
第三回 平成26年 3月22日(土) 尚和会会議室

理事会

- 第一回 平成25年 5月11日(土) 尚和会会議室
第二回 平成25年 9月 7日(土) 会費制 会場未定
第三回 平成25年11月 9日(土) 尚和会会議室
第四回 平成26年 1月12日(日) 新年理事会 会費制 会場未定
第五回 平成26年 3月22日(土) 尚和会会議室

(※各案内葉書は開催前に発送します。)



学校経営を支援する 多彩なソリューションをご提供します。

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、学生のキャリア教育・就職支援、同窓会事務局の運営支援等、円滑な学校経営をサポートします。

株式会社廣済堂 教育ソリューション
〒560-8567 大阪府豊中市蛍池西町2-2-1
TEL 06-6855-9241
http://www.kosaido.co.jp/



同期会報告

高校卒業60周年記念パーティー

高4期 西村 澄子

連日37度を越す猛暑続きの八月九日大阪ヒルトンホテルで卒業60周年と傘寿を祝う会が催されました。

二年前の喜寿の会より12名少ない男28名女54名計82名の集まりは、猛暑のさ中にもかかわらず、気持だけは元気一杯の老男老女の、さすが高四の面々と思わせられる心はずむ会となりました。

クラブ活動の想い出話、同期生のお嬢さんの美しい歌声に酔い、童心に返ったあつと云う間の三時間でした。

昭和23年GHQ主導で行われた学制改革で、五年制の中学校、女学校は三年制の高校となり、21年入学の我々は旧制の最後の入学者となりました。高校生になるまでの一年間は高校併設中学と云う形で行なわれ、この変則的な制度の為、高二になるまで入学者はなく、下級生の居ない四年間を過した事になります。更にもっと思いもしなかったことは豊中、池中からの男子の編入での共学でした。紅顔の少年がいさ、かの不満と興味で、ピカピカに磨かれたあの校舎に来たあの日から、素適な出会いをした少女少女が巣立って早や60年、気がつけば80才になろうとしています。

戦争、敗戦、次々襲う大震災、目まぐるしく変化する世の中、思えばいつも死と隣り合わせの日々だったと思えば、この長い年月は奇跡としか思えません。多くの物と人々に守られての今日は「おめでとー」の前に「有難う」



桜塚高校四期生卒業60周年・傘寿を祝う会

なのでしよう。

長い人生の中で、高校での日々は点に過ぎない時間かも知れませんが、あの多感な年頃に刻んだ時間は輝くようなものでした。

全員の大きな集まりはこれが最後となりますが、同期の皆様が80年積み重ねてきた、この宝物のような時間を心の糧として、心おだやかに豊かな日々を過されるよう念じています。

老いに疲れた時、あの桜塚での日々の輝きが明日への力の源になりますように！

桜の型に切りとられたブロック塀に囲まれ、美しい恩露園、恵風苑のある想い出いっぱい桜塚高校の更なる発展、そしてあの頃あれ程ほしかった下級生が、今は数えきれない程の後輩達、その彼等の大いなる活躍を期待し又楽しみにしています。

最後にこの60年もの長い間、折にふれての集まりをお世話下さった役員の方々へ心からの感謝と御礼を申し上げます。

高校九期生 同窓会

高9期 宇多 良勝

私達九期生は卒業後五十五年を経過し今年で七十五才になります。

そこで二月二十日、ヒルトン大阪にて同窓会を開催しました。

春秋はいろいろと行事も重なるため暇な二月にと企画しましたが、いささか寒さ厳しく、残念ながら雪のため来阪ままならぬ方もおられました。それでも四十六名の方が出席されました。折角の機会を捉え上野幹事より母校の現況報告がありました。

今年、高校を受験する府下の中学生



桜塚高校 九期生 同窓会

を対象とした調査で桜塚は大変好感をもって評価されたこと、震災からの復興に頑張っている岩手県立大槌高校との交流試合が話題になった野球部、各方面で活躍の軽音楽部、春の校内だけ桜観賞会などが紹介され、何かほのぼのとした校風を思い出しました。

この年代になると将来の同窓会のあり方が話題になります。そこで参加者の皆さんにアンケート調査をお願いし意見を聞きまして、まだ同窓会は続けたいという方が多数でした。今回、尚和会から助成金をいただきました。

お礼も兼ねて会報誌発行協力金の案内を致しましたところ多数の方の協力をいただきました。

北風の強い寒い一日でしたが、午後のはひの時、私達の会場は暖かさが一杯でした。

高校十七期生 五十周年記念同窓会報告

代表幹事 福本 育馬

平成二十五年四月七日、ホテルアイボリーにおいて四回目の同期会を開催致しました。ウエルカムミュージックの校歌が流れる中での入場となり、一瞬五十年前の懐かしい風景が思い起こされ、和やかな雰囲気のもとで始まりました。

当日、遠くはアメリカ・ロス、台湾、首都圏からと九十名近い同期生が参加し、尚和会本部より大畠会長そして牧未男先生にご出席いただきました。裨田(小島)和子さんの進行で、上村学君による同期生三十八名の物故者とお亡くなりになられた先生方のご冥福を祈って黙祷を捧げ、世話人を代表し、私福本の挨拶、牧先生の挨拶、大畠会



桜塚高校 50周年記念 17期同窓会

長の乾杯があり、懇親パーティーは賑やかにスタートしました。

会が進むにつれ、入学した頃、部活の思い出、豊桜戦、修学旅行、マドナナの情報など懐かしい昔話や近況を語り合っているうちに楽しい一刻もあつという間に過ぎ、最後に全員で校歌を合唱し、記念撮影の後、お開きとなりましたが、何十年ぶりの再会だと言うこともあつてこのまま離れ難く五十名以上の方が二次会に参加され、さらに盛り上げる同期会となりました。

お互い健康に留意して、七十歳(古希)を迎えた時にまたお会い出来ればと思っております。

十九期会 四十五周年同窓会

高19期 海老 一夫

十九期生の同窓会が二〇一二年九月三〇日、大阪市のヒルトンホテルで開催された。台風の接近で「予定通り来てくれるかどうか」（幹事）と心配されたが、男性三十二名女性三十四名が参加。十九期の恒例となった校歌を合唱して、水田紀久先生（八十六歳）・相沢昂先生（七十九歳）松宮達也先生（七十三歳）を出迎えた。参加を予定されていた柳沢千吉先生は天候状態を考慮され、永広富延先生、佐藤宏明先生、内尾ひで先生は所用のため欠席された。水田先生の挨拶と乾杯の音頭でスタート。卒業して四十五周年を迎えた六十三歳、六十四歳は一気に若返り、会場は学園ムードいっぱい。先生方の近況報告。福西幹事の名司会で指名された生徒たちも壇上上がり近況や思い出などを語った。同窓会はこれまで五年毎に行われていたが水田先生から「十九期のこの会が一番楽しい。五年先と言わず一、二年おきにでもやられては……」との提案があり、参加者全員が拍手でこれを承認した。今回、特に目を引いたのが会場正面に飾られた「横断幕」縦1メートル横5メートル右端に校歌、続いて団塊の世代が幼かった頃、野道を歩く姿、「十九期生の星」奥田敏輝さん（故人）を中心に甲子園まであと一歩と迫った野球部のワンシーン。女子生徒のあこがれであり誇りであった制服姿。懐かしい木造校舎の正面玄関が描かれている。これは本校美術部（六十六期の下野唯さん・六十七期の堅田史音さん・喜多真理奈さん・新山晴香さん・内藤楓さん吉海えみりさん）の労作で、大岩幹事長から紹介されると感嘆の声と共に

大きな拍手が贈られ、今後の同窓会でも掲げることになった。予定の三時間も瞬間に過ぎ、場所を移した二次会にも五〇名が残った。卒業アルバムを見ながら、高校時代を振り返るなど、窓外の台風も忘れるほどの熱気、校歌を歌って中締めとし、再会を誓った。



高定十三期同期会を終えて

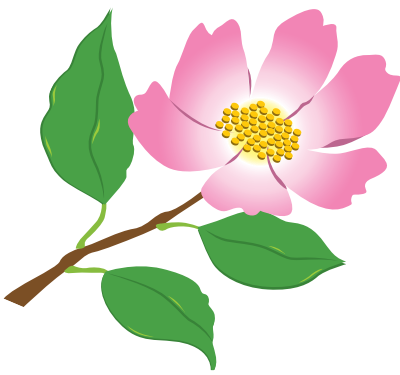
定13期 塚本五十鈴

平成二十四年六月三十日（土）、宝塚ホテルに於いて十三期同期会を開催しました。この日は生憎の雨で足許の悪い中、皆さんの元気そうなお顔を見てホッとしました。

と言うのも一昨年の六月の同期会に出席しておられた方で、顔の肌艶もよく人一倍健康そうで、日本中を自転車で走り回っているとおっしゃっていた人が、年が明けたら亡くなられていた事を聞いて、大変ショックを受け自分達がそういふ年令になったと言う事を、改めて知らされた思いでした。

毎年同期会を開いている私達ですが、今回は遠方から来られた方の申し出で、自己紹介と近況報告をし、皆さん絵画に、マラソンに（トライアスロンも）、山登りにと、それぞれの趣味を楽しんでおられる様子が何かがえましました。続いて二次会はホテルより歩いて五分の所、カラオケ「アングル」へ。二時間存分に歌って踊って最後に校歌を斉唱し、ひとまずお開きに。

来年は私達十三期生にとって卒業五〇周年となります。



一人でも多くの方に参加していただけるよう色々企画を練って盛会に終わらせたいものです。

定21期同窓会報告

定21期幹事 堀 健次

2012年11月3日、ホテルアイボリーで定時制21期同窓会を28名の参加で開催しました。1971年（昭和46年）の高校卒業後、初めての同窓会で41年ぶりに仲間が顔を合わせました。

初めは誰だか分かるかなと心配しましたが、みんな還暦を過ぎても高校時代の面影は残り、少し話すだけで当時に戻ることができました。

恩師や同期生で亡くなった方たちの黙とうから始まり、各人のスピーチや「みんなで歌おう」、記念撮影で瞬間に2時間が過ぎました。

関東・四国・中国地方など遠方からの参加者もあり、短い時間でしたが懐かしいひと時を過ごすことができ、次の再会を誓ってお開きとしました。そのあと有志が残った二次会では舞

台も使ったカラオケ大会で美声と青春の唄声を響かせました。同窓会で数十年の歳月を遡り、高校生の青春時代に戻って活力を得た思いです。

はじめは住所判明者が少なかったのですが、互いの情報を集約しながら数カ月で4割強まで判明者を増やすことができました。そして当初の目標を上回る参加で嬉しい一歩が踏み出せました。しかしまだ住所不明が半分以上です。今後も何を何年か毎に開きながら、未連絡者を減らしていきたい仲間の絆を深めていきたいと思えます。

また今回、準備段階から実行委員会をのべ5回開き、多くの協力で開けたことも今後につながる大きな収穫でした。

最後に開催に向けて尚和会から色々援助をしていただき、ありがとうございました。助成金も有効に使わせていただきました。感謝申し上げます。



尚和会の歩み

- 1942(昭和17) 豊中高女第1期生の卒業と同時に、和を尚ぶの精神で同窓会として「尚和会」発足。(3月)
- 尚はたつとぶ、こいねがう、おもんじるの意味で、和は文字通り人の和、なごむ、仲がいいことです。
- 1953(昭和28) 会則制定(8月) 会報を創刊(4月) 卒業生に記念品を贈呈。校歌制定(1月) 作詞・永田俊夫(高5)、作曲・今枝弘子(高5) 初代会長・高女1期 矢野鈴子 就任。
- 1956(昭和31) 第2代会長・高女2期 榎木愛子 就任。
- 1957(昭和32) 創立20周年行事に参画。生徒自治会にロッカー、尚和会館に座敷机などを寄贈。
- 1959(昭和34) 体育祭、冬期マラソン大会に優勝盾を寄贈。
- 1960(昭和35) 第3代会長・高女1期 塚田京子 就任。会員数7,000名。名簿を発行。定時制の体育祭にカップを寄贈。
- 1962(昭和37) 第4代会長・高女2期 深田久子 就任。
- 1963(昭和38) 校旗制定(1月)
- 1965(昭和40) グラウンドに水銀灯を贈る。
- 1966(昭和41) 第5代会長・高女3期 木村益子 就任。
- 1967(昭和42) 会員数11,000名。創立30周年記念行事に90万円を寄付。豊中市岡町の瑞輪寺で熊本・阿蘇への修学旅行で亡くなった学生(別掲①)ら物故者の慰霊祭を行う。
- 1969(昭和44) 会員名簿を発売(一部500円)。会報発行を総会の案内を兼ねて5月1日発行とする。
- 1975(昭和50) 昭和20年6月、戦災で女子学生7人が亡くなって30年(別掲②)
- 1977(昭和52) 学徒動員戦没者慰霊祭を瑞輪寺で。全日制40周年、定時制30周年記念行事。木造校舎のシンボルだった「三つの鐘」の鐘楼を再建。旧尚和会館閉鎖。
- 1978(昭和53) 第5期工事完了6月9日(食堂棟)に伴い1階食堂、2階尚和会議室として新尚和会館落成。
- 1979(昭和54) 第6代会長・高女1期 越水ユリ 就任。
- 1985(昭和60) 第7代会長・高3期 高津 弘 就任。
- 1986(昭和61) 創立50周年記念事業の一環として、恵風苑、恩露園など校内の緑化整備の着工に尽力。創立以来の物故者の慰霊祭を大阪市の冷雲院で行う。
- 1987(昭和62) 恵風苑、恩露園の整備成る。(8月)
- 1988(昭和63) 第8代会長・高3期 谷田探成 就任。
- 1989(平成元) 尚和会会員総数24,000名突破。
- 1990(平成2) 会報表紙カラー印刷。
- 1992(平成3) 名所・旧跡を巡る会が発足。奈良・長谷寺、室生寺へ。総会で評議員会制度を取入れた新会則を承認。各学年の代表で構成される評議員から主要役員を選出。総会は特に具体的な決定権を持たなくなった。新会則施行(5月16日)
- 1995(平成6) 第9代会長・高6期 荻野哲男 就任。
- 1995(平成7) 阪神・淡路大震災。近隣高校で最も大きな被害に遭い、災害見舞金(100万円)を拠出。
- 1997(平成9) 創立60周年記念事業に参画。会員数29,000名。尚和会東京支部設立。
- 1998(平成10) 尚和会東京支部第1回総会開催。

- 1999(平成11) 会報の有料制実施(会報年会費1,000円)
- 2001(平成13) 同期会開催を支援する助成金制度発足。(卒業5年毎に50,000円)
- 校舎移転に伴い、グラウンドにあった藤棚を撤去。(昭和14設置)
- 2002(平成14) 現役クラブ報奨金制度を実施。母校のPTAと共同出資で視聴覚教室にエアコンを設置。会報を卒業後5年間無料配布とする。
- 第10代会長・高11期 田中 渡 就任。
- 2007(平成19) 会報は「創立70周年記念特集号」を組み、会報史上初の30頁。ホームページを開設。
- 2008(平成20) 創立70周年記念で、体育館舞台用の一文字幕、楽器、彫塑像(若者)修復、台座設置、正門前照明灯、エアコン、テナントなどを寄贈。
- 会報全頁オールカラー化。
- 11代会長・高15期 大島光昭 就任。
- 2009(平成21) 文化庁が本校北側に残る塀を、登録有形文化財に認定。(別掲③)
- それを記念して顕彰板、リーフレットを寄贈。
- 2010(平成22) 野球部OB会が大府代表で「マスターズ甲子園」に出場。(校歌が甲子園球場に流れる。尚和会館及び母校LL教室にエアコン設備設置。
- 会則一部改正(10月23日施行)
- 2011(平成23) 東日本大震災被災地へ日本赤十字社を通じて100万円を寄付。(4月)
- 職員室のOA床工事、トレーニング機器購入の資金援助。尚和会館に温水ウォッシュレット、ガス給湯器設置。
- 2012(平成24) 創立75周年事業で恵風苑、恩露園を整備。(5月) 初めて枝垂れ桜鑑賞会を学校側と共同で開催。(4月7日) 会報通算60号達成。定時制進路相談室に振興会と共同でエアコン設置。
- 豊中市主催の「岩手県大槌町復興祈念高校野球交流試合」を学校側と共同でサポートする。(8月7日~8日) 写真集も発刊。(10月)
- 桜花祭(文化祭)に尚和会として初めて出展参加(9月15日)
- 尚和会東京支部第8回総会に異例の110名参加。(アトラクションに落語家・笑福亭仁勇「高29山澤健二」さんと、母校軽音楽部の「さくらヒルズ」が出演し大好評を得る。(11月18日)

尚和会 会員総数 (卒業者数)
36,378名 (平成25年3月現在)

●お願い
卒業後、進学、就職、結婚等で転居された場合は、母校の尚和会事務局宛て新住所をご連絡下さい。尚和会運営には、会員の住所把握が基本で、今後、各期の同期会開催で、お申し出があれば同期生の最新の住所提供をさせていただきます。

尚和会ホームページ <http://www.sakura-showakainet>

別掲①
1953年(昭和28年) 4月27日(月曜日) 3年生(高6期生)が九州

へ修学旅行中、熊本・阿蘇山の噴火に遭遇。男子生徒一名が死亡、多くの負傷者が出た。
その当時の模様を三名の方が記念誌に寄稿されている。

川西秀夫さん(高6期生)
「下山してきた女子と替わって火口へ。記念撮影を終え、弁当をひろげようと時々のこと。爆発音は感じなかったが、夢中で火山弾の落ちる中を走り下山した。同級生一名が亡くなったのは誠に残念なことだった。準急「阿蘇」で帰阪したのも縁だった。季節により、時々後遺症に悩まされている」(70周年記念誌より抜粋)

宇多喜代子さん(高6期生)
「たまたま、風邪で参加できなかった。新聞の号外で遭難を知り、友人らと大阪駅に迎えにいって。顔を包帯で巻いたり、腕を吊ったりして列車から降りてくる男子生徒の姿を見て、私は幼い日に体験した空襲を思い出した。亡くなったのは、まじめでおとなしい男子生徒だった。落下石が頭を直撃したそうだ」(50周年記念誌より抜粋)

堀江哲郎さん(高7期生、自治会執行委員)
「27日は正午ごろより、父兄や新聞記者らが来校し、授業は全くやれなかった。28日、女子が帰阪。男子もまもなく到着、負傷者は14人だったが、全員がけがを負っていった。30日、3年4組全員と自治会委員らが大阪駅で遺骨を出迎えた。5月4日、故人の校葬が挙行された。校長、職員、生徒らのほか、大阪府知事、熊本県知事、桜塚生と同時に被災した加古川西高校の代表者らが参列した」(50周年記念誌より抜粋)

別掲②
太平洋戦争末期の1945年(昭和20年)6月、学徒通年勤労動員で、大阪市内の軍需工場で働かされていた豊中高女5期(16歳)から8期(13歳)の7名が空襲の犠牲となった。だが、この記録は敗戦と同時に焼却され、桜塚高校には一ページも残されていなかった。その事実を知らされた有志は1975年(昭和50年)に「豊中高女学徒動員記録の会」を設立。編集責任者の広実輝子さん(高女5期)も同空襲で左手に重傷を負った。高女4期から8期の卒業生に呼びかけ、執筆を依頼。「とても集まらないと思って」(広実さん)と、東京、広島、四国から50余名が貴重な体験談などを寄せた。そして、同年8月15日の終戦記念日に「ほむら野に立つ」が刊行された。ほむらは「炎」の意味。「印刷所の方が活字を拾いながら涙をこぼされた」(元教諭・井上まささん)。

別掲③
初版の千冊はたちまち売り切れ、千冊を増刷。その、剰余金で1976年(昭和51年)5月、ブロンズの少女像「ほむら野」(作・井上 昭さん 行動美術協会会員)が贈られ、現在も母校玄関ロビーに飾られている。
なお、本の一部の内容は50周年記念誌、尚和会会報(昭和50年10月発行)にも掲載されている。

校庭北側の塀が2009年(平成21年)1月8日、国の登録有形文化財に登録。
この塀は1938年(昭和13年)に創設された旧豊中高等女学校の開校当時から現在に伝わる唯一の建造物で、塀のデザインに桜塚の地名やそれに由来する校章にちなんだ桜の花の透かし穴がある。当時の郊外地や女学校時代の雰囲気を感じることが評価された。また、塀は煉瓦で出来ており、製作会社の刻印が残されている。
これを記念して尚和会は同年9月に顕彰板を現地に設置。序幕式の模様は、産経、朝日、大阪日日各新聞に掲載された。

編集 高19期 海老 一夫
加筆 高15期 大島 光昭

第八回 尚和会東京支部 総会・懇親会



北村東京支部長挨拶



小山学校長来賓挨拶



大島会長来賓挨拶



高女3期阿部節子さん
乾杯音頭



「さくらヒルズ」の演奏



高女期の面々



校歌斉唱



高29期山澤副会長の落語
(笑福亭仁勇師匠)



尚和会東京支部 第8回総会・懇親会
2012年11月18日(日) TKPガーデンシティ品川 1階「ネクスス」

東京支部副支部部長 高17期 竹村 慶三

第八回 尚和会東京支部の総会・懇親会は、平成二十四年十一月十八日(日)に、TKPガーデンシティ品川にて開催されました。

同総会・懇親会は、二年に一度開催され、本年は来賓・会員・軽音楽部の顧問・部員の方を含めて一〇五名と過去最高の参加をいただき、和やかな雰囲気の中で盛況裏に実施されました。一〇五名の内訳は、来賓(含む軽音楽部学生)十二名・会員九十三名(高女十二名・高校八十一名)でした。

主催者を代表して、北村支部長(高14期)が、高女出身の最高齢九十歳の大先輩はじめ多数の参加をいただいたことの御礼の言葉に続き、「本日は参加して良かった。楽しかった。さすが桜塚の同窓会と満足してお帰りの挨拶もお願いしたい。」と挨拶された。来賓として、小山校長先生から、高女八期・高校六十七期合せて創立七五周年を迎えたこと。学内庭園を一新綺麗にしたこと。女子制服をデザイン替えたこと。更に入学したところ等、母校の現状について語られました。

続いて、大島尚和会会長の来賓挨拶では、五月に開催した豊中の尚和会総会は参加者が予想比少なかったが、五年後の高校創立八十周年総会では三百名余の参加を目指すという力強いメッセージがありました。

その後、総会議題として活動報告・会計報告が行われ無事総会終了。別室に移動しての全員による記念写真撮影に続き、後半の懇親会・アトラクションへとつづりました。

アトラクションの第一部では、現役軽音楽部バンド「さくらヒルズ」の演奏。

① 懐かしい曲(恋のバカンス、マドンナ達のララバイ)も織り込みシニア先輩への配慮、「若々しく、可愛い歌声と身振り」で孫・ひ孫にあたる年齢の現役学生に拍手喝采。また、オリジナルソング「おかまち桜いろ」

も圧巻でした。② 軽音楽部先輩である十七期奥村 豊さんの「飛び入り寸評と励ましの言葉」は瞬時にして先輩・後輩の絆の強さを物語る感動的なシーンとなりました。

③ バンド前に集まったの声援、演奏後の記念スナップ撮影等多いに盛り上がりました。アトラクションの第二部は、高校二十九期で尚和会副会長でもある山澤健二さん(笑福亭仁勇(しようふくてい)にゆう)師匠の落語。

① 年齢層を考慮した場の盛り上げ、聴衆を引きつける「楽しい話芸」はさすがで全員爆笑につぐ爆笑でした。桜塚OBの活躍分野広さを見せつけるものでした。② 軽音楽部同様、落語終了後の記念スナップ撮影等多いに盛り上がりました。会食をしながらの懇親会後半では、卒業年次同層のテーブルを超えた歓談となり懐かしい校庭・お世話となり懐かしい話・近況交換など様々な、楽しい雰囲気でもたたく間に時間が経過していく程でした。

小山校長先生執筆の書籍説明も実施され、校長直筆サイン入り本「空手道の教育」力を総会参加記念にと求められた方も続出。

また、現役軽音楽部の更なる活躍へのエールとして実施された「軽音楽部のエール支援」では、多数の方から賛同いただき多額(八万七千六百円・十ユーロ・五百円の商品券)の募金となりました。軽音楽部代表に贈呈。顧問の久谷先生・軽音楽部代表から「有効活用と今後の力強い活動」への誓いと謝辞がありました。

次回以降の総会運営等に資するために実施しました「アンケート」には、「盛況かつ楽しく、素晴らしい同窓会!来て良かった!」と、お褒めの言葉が多く寄せられました。(別添「アンケート結果報告」をご参照ください。)

お開きに際して、肩を組んでの全員による校歌(高女・高校)斉唱では、懐かしく好評で、なかには感極まり涙ぐむ人もおられました。一方、

アンケート質問別・卒業期別回答状況

2012年12月12日

設問内容	高女		高校1~10期		高校11~15期		高校16~20期		高校21期以降		卒業期不明		合計	
	回数	内容	回数	内容	回数	内容	回数	内容	回数	内容	回数	内容	回数	内容
1. 開催時期	0		4	土・日曜と交互可 少し早期がよい 11月中旬開催可	9	11月で可	9	11月で可:7 10月希望:2	8	11月で可:6 10月希望:1 事前告知で何時でも	2	11月で可	32	○11月で可 ○10月希望:2 ○土・日交互開催
2. 会費について														
a. 高い			6		16		9		7		2		2	10%
b. 適正													40	90%
c. 安い													2	10%
3. 総会について	0		1	大変良い・感謝 良い	1	正直わからない 良かった。次回楽しみ	1	良い 今のままで	1	aとbの中間 良い			6	楽しい 良い 幹事に感謝 1 内容豊富 6 その他
4. 懇親会について														
a. 座席等	0		4	良い	7	良い	7	良い	4	良い	1	良い	23	良い 2 同期と同席良い 1 女性名札は旧姓も
b. 飲食関係														
量的に①多い			0		0		0		0		0		0	0%
②ちょうど良い			6		12		10		4		1		33	77%
③少ない			0		4		1		5		0		10	23%
メニューへの意見	0		0		3	美味しかった 1 寿司が少ない 1 バイクキングはいや 1 コース料理にして	2	美味しかった 1 寿司が少ない 1 和食を多く 1 食事追加遅い	1	日本酒欲しい ノンアルコールビール デザート・寿司少ない 高校生が先にとるな	0		5	美味しかった 2 寿司が少ない 1 コース料理にして 2 ノンアルコールビール 6 その他
5. アトラクション														
①軽音楽 演奏	0		2	最高に良かった 1 現役の活躍嬉しい 1 若人の演奏最高	13	最高に良かった 1 軽音で桜塚を有名に 1 現役出演うれしい 1 ボール間が可愛ね 1 可愛らしくて若返る 1 これからの飛躍祈る	8	最高に良かった 1 岡町出身者感動 1 懐かしい歌を有難う 1 校歌演奏欲しい 1 校歌演奏嬉しい 1 現役出演うれしい 7 その他	4	最高に良かった 1 可愛かった 1 もとポップスでも良い 1 校歌演奏嬉しい	2	最高に良かった	29	最高に良かった 2 可愛かった 1 懐かしい歌を有難う 1 校歌演奏嬉しい 1 現役出演うれしい 7 その他
②落語	0		1	最高に良かった 1 楽しかった 1 川柳面白かった	9	最高に良かった 2 面白かった 3 大笑いした 1 面白くさずがプロ 1 今後の活躍楽しみ	7	最高に良かった 1 面白かった 1 もっと時間欲しい 1 普通の落語より爆笑	5	最高に良かった 1 面白くさずがプロ	2	最高に良かった	24	最高に良かった 4 面白かった 2 面白くさずがプロ 1 川柳面白かった 1 今後の活躍楽しみ 4 その他
③今後の希望、情報提供 こんな催し等	0				1	次回も楽しみ 1 フォークダンスやろう 1 軽音楽で踊ろう 1 音楽が良い 1 次回も楽しみ 2 その他	1	歌と落語合わせ最高 1 最高に良かった 1 音楽が良い 1 従来どおりで可	0		0		1	フォークダンスやろう 1 軽音楽で踊ろう 1 音楽が良い 1 次回も楽しみ 2 その他
6. その他	0		1	このホテルの場所わかりにくい	1	校歌唄い泣けた 1 桜塚の会は出会い奇跡	2	有難うございました 1 楽しかった 1 初参加!最高	1	案内差出人尚和会では不明	1	最高に良かった 1 楽しかった 1 また出席する	2	有難うございました 2 楽しかった 1 また出席する 1 来て良かった 1 校歌唄い泣けた 1 名札は旧姓記入 1 幹事に感謝 7 その他

◎活動報告

1. 役員会・幹事会
平成23年度(23/4~24/3)計 2回(1/20・2/24)
平成24年度(24/4~25/3)計 10回(4/8・4/20・6/15・7/6・8/22・10/3・10/29・11/6・11/12・11/16)

1. 尚和会本部(大阪)理事会・総会への出席
平成23年度(23/4~24/3)計 5回(5/15・9/3・11/5・1/15・3/24)
平成24年度(24/4~25/3)計 2回(5/20・9/8)

◎決算報告

尚和会東京支部平成23年度会計決算報告(22/4~24/3)

○収入の部

項目	金額	備考
前年度繰越金	480,785	
懇親会会費	343,000	45名のご出席
協力会	320,000	185名のご援助者(45名+140名)
本部援助金	300,000	H22年度分・H23年度分
祝儀	23,000	大島会長・越水元会長・小山校長より
雑収入	223	利息
合計	1,467,008	

○支出の部

項目	金額	備考
総会費	35,370	名簿代・宛名シール・振込票・宅配便代・写真代他
事務費	19,443	封筒・スタンプ台・用紙他
通信費	162,650	案内状発送代・切手代・葉書代・振込料・礼状発送代他
懇親会費	588,887	宴会費・プロジェクターレンタル代
会議費	129,554	会場使用料・会議費・食事代・理事会出席他
その他	26,275	供花・香典
次年度繰越金	504,829	
合計	1,467,008	

平成24年3月31日 尚和会東京支部 会計 田口充宏 監査 越智秀樹

◎監査報告

監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。
尚和会東京支部 会計監査 上田晶子

同期会開催予告

高校五期会 「傘寿の祝」

日 時 平成25年10月16日 (水)
受付：11時
開会：11時30分
会食：12時
閉会：15時

場 所 ヒルトン大阪「真珠の間」

料 理 和洋折衷

会 費 一万円

申込締切日 10月1日 (火)

尚、詳細案内は後日発送致します。

幹事 竹村 忠一
宮口 一郎
村上美智子

高15期会 卒業50周年記念同期会

日 時 平成25年10月12日 (土)
12時～15時
15時～17時 (二次会)

会 場 新阪急ホテル
紫の間

会 費 10,000円

詳細案内他は当会報に同封いたしておきますのでお読み下さい。

15期会会長 大島 光昭
()

35期 同期会のお知らせ

早いもので私たちが桜塚高校を卒業して30年になりました。5年前の前回も多数の参加をいただきましたが、今回「卒業30周年記念同期会」を開催しますので、ご参加をお願いします。詳細につきましては夏ごろにお送りします。

日 時 2013年11月9日 (土)

場 所

ホテル阪急インターナショナル
6階 瑞鳥北

会 費 8,000円 (予定)

世話役代表 桑田 誠
(桜塚高校 理科)

各種電子機器 (半導体製造・計測・制御・データ伝送等) の装置の販売及び先端技術応用システムの開発を通じ、お客様のニーズにお応え出来る技術と信頼の会社です。

新日本電工株式会社

代表取締役 小柳大吾 (高15期)

創立 昭和27年 (1952年) 資本金 1000万円

本社所在地 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号 (堂島ビル6階)
TEL: 06-6363-2001 (代表) FAX: 06-6365-8946

工場所在地 〒574-0014 大阪府大東市寺川4丁目8番26号
TEL: 072-871-3471 (代表) FAX: 072-871-3326

ホームページ <http://www.snd.co.jp/>
<http://youtu.be/Hqa1979ERbw>

PCからのコントロールで簡単操作!
●動作状況 (電圧・電流値 etc) のチェック ●コントロール (倍率・フォーカス・コントラスト・明るさ)

MOBILESEM
MSK2000-A



持ち運べる
超小型の軽量
電子顕微鏡

<http://www.snd.co.jp/>

安心をみえるカタチで...

スマートベクレルカウンター

空間線量だけでなく、食品や土壌などの放射線量をベクレル(Bq)/kg単位で測定できるのが「スマートベクレルカウンター」。安全な食卓をあなたに。

あなたの身近な放射線量

あなたは把握していますか?

国立大学との
共同開発商品



<http://www.smd-sbc.com>

高36期 卒業30周年記念

来年、平成26年が高36期卒業30周年です。久々に同窓生で集まってなにかお祝い事のようなことをしましょう。言いだしっぺは、仕事させていただきまます (井岡先生風) が、一人だけではできない事も多いので、色んな手伝いして下さる方を募ります。時期としては秋の連休あたりを考えていますが、皆さんの意見も聞きながら調整したいかと。とりあえず動いてみましょう。

「高校36期卒業30周年同窓会準備するよ」 のお知らせ

平成26年秋・大阪での開催に向けての準備委員を募ります。

場所や時間の詳細については来春の会報で告知できるようにがんばりましょう。

暫定幹事 村上佳津子 (旧姓・真鍋)

ゆっくり描ける、アクリル絵具。

ゴールデンオープンアクリリクス。

GOLDEN
OPEN ACRYLICS™

【全40色】

GOLDEN OPEN ACRYLICS



ゴールデンオープンアクリリクス 60ml ラミネートチューブ入り全40色 メディウム3種

明日の色をつくる...
ターナー色彩株式会社
代表取締役社長 地平宏

〒532-0032 大阪府淀川区三津屋北2-15-7 TEL.(06)6308-1212 FAX.(06)6305-3018
〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-1-3 TEL.(03)3953-5161 FAX.(03)3953-5153
ターナー色彩ホームページ <http://www.turner.co.jp/>

お便りから
平成二十四年五月から平成二十五年一月までにお送り
頂いたものの中から掲載しています。



WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

す。

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

平成25年尚和会新年会報告

高校19期 副会長 大岩 正明

今年度の評議員会・理事会新年会は、平成二十五年一月十三日(日) 新阪急ホテルにて開催されました。

今年は例年になく寒さが厳しい冬でしたが、五十五名の参加があり、会場内はポカポカ陽気の春のようでした。

まず、大島会長の挨拶から始まり、来賓の挨拶、各委員会の報告と続き、今回は北村東京支部長からも報告がありました。

それから加藤准校長の乾杯で懇親会の開会となりました。
正月らしいミニ会席料理と美味しいお



酒をいただきながら、今までにはなかったゲーム(脳トレ・じゃんけんゲーム等)を全員で楽しみました。

毎回楽しみにみな景品は今回も高五期北之坊英美子さんよりありがたにご提供いただいた。毎回ご協力いただき誠にありがとうございます。



脳トレ会長賞は高17期木下達雄理事が獲得



閉会の辞は南副会長にて行われました。昨年からは尚和会としての新しい取り組み「しだれ桜鑑賞会の開催」・「桜塚高校と大槌高校との野球親善試合へ協力」・「現役文化祭への出展」などが実施されました。

教職員人事異動 平成二十五年

このような取り組みを通して、現役生徒が尚和会の趣旨・活動を理解し、卒業後も各自がOB・OGとして尚和会にながりを持つてくれることを期待しています。

- 全日制課程
 - 校長 小山
 - 国語 石田
 - 国語 上田
 - 社会 植松
 - 理科 木下
 - 保健体育 足立
 - 英語 今井
 - 英語 岡本
 - 英語 矢野
 - 実習教員 大塚
 - 養護助教諭 前田
 - 技師 田中
 - 技師 河井
- 転任
 - 国語 丸山
 - 社会 村川
 - 数学 坂本
 - 主査 竹邊
 - 校長 加藤
 - 国語 細川
 - 国語 平井
 - 社会 鈴木

WEB 版非公開

- 退職
 - 社会 藤井
 - 理科 濱野
 - 保健体育 籠谷
 - 英語 五ノ坪
 - 英語 今川
 - 英語 西野
 - 英語 市川
 - 実習教員 加川満
 - 養護助教諭 二見
 - 事務・専門員 奥休場
 - 主査 篠原
- 転任
 - 保健体育 明田
 - 准校長 加藤
 - 英語 浅野
 - 理科 神原
 - 情報 渡邊
 - 国語 伊藤
 - 社会 松島
 - 保健体育 水田
 - 准校長 大崎
 - 社会 島内
 - 保健体育 大辻
 - 国語 秦
 - 数学 坂本
 - 英語 徐
 - 情報 西原

WEB 版非公開

WEB 版非公開

平成二十四年物故者芳名
(平成24年1月1日～12月31日まで)

二千円 ●高女4
六千円
四千円
三千円

二千円 ●高女2
千円
三千円
四千円 ●高女3
千円
五千円
六千円
一万二千円
一万七千円

二千円 ●高女1
六千円
五千円
四千円
三千円
二千円

●旧職
千円

平成二十四年度 会報代・協力金
◆ご協力ありがとうございました◆
(金額は納入合計額)

WEB 版非公開

三千円 ●高女8
二千円
千円
五千円
四千円
三千円
二千円
千円 ●高女7
一万二千円
一万円
五千円
四千円
三千円 ●高女6
千円
一万二千円
一万円
六千円
五千円
四千円
三千円
二千円 ●高女5
千円
一万二千円
六千円
五千円
三千円
二千円

WEB 版非公開

●高女6
一万二千円
六千円
五千円
四千円
三千円
●高女4
千円
一万二千円
一万円
六千円
五千円
四千円
三千円
二千円 ●高女3
千円
一万二千円
五千円
四千円
三千円
二千円 ●高女2
千円
四千円
三千円
二千円 ●高女1
五千円
二千円

WEB 版非公開

●高女8
六千円
五千円
四千円
三千円
●高女7
千円
一万二千円
五千円
四千円
三千円
二千円 ●高女6
千円
七千円
六千円
五千円
三千円
二千円

WEB 版非公開

●高女11
一万二千円
五千円
四千円
三千円
二千円 ●高女10
千円
一万二千円
八千円
五千円
四千円
三千円
二千円 ●高女9
千円
六千円
五千円
四千円
三千円
二千円

WEB 版非公開

四
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
14
 五
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
13
 六
千
円
 五
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
12
 三
万
二
千
円
 六
千
円
 五
千
円
 四
千
円
 三
千
円
 二
千
円

WEB 版非公開

四
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
18
 六
千
円
 一
万
二
千
円
 五
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
17
 六
千
円
 五
千
円
 四
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
16
 一
万
二
千
円
 一
万
円
 八
千
円
 六
千
円
 五
千
円
 四
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
15
 一
万
二
千
円
 六
千
円
 一
万
円
 五
千
円

WEB 版非公開

二
千
円
 ●高
千
円
24
 四
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
23
 六
千
円
 五
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
22
 一
万
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
21
 一
万
一
千
円
 六
千
円
 五
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
20
 六
千
円
 一
万
円
 四
千
円
 五
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
19
 七
千
円
 六
千
円
 五
千
円

WEB 版非公開

二
千
円
 ●高
千
円
32
 五
千
円
 四
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
31
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
30
 一
万
一
千
円
 五
千
円
 四
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
29
 六
千
円
 五
千
円
 四
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
28
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
27
 六
千
円
 四
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
26
 一
万
一
千
円
 六
千
円
 五
千
円
 四
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
25
 一
万
二
千
円
 五
千
円
 四
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
24
 一
万
二
千
円
 五
千
円
 四
千
円
 三
千
円
 二
千
円

WEB 版非公開

●高
千
円
45
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
44
 五
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
43
 二
千
円
 ●高
千
円
42
 五
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
41
 一
万
一
千
円
 ●高
千
円
40
 六
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
39
 三
千
円
 ●高
千
円
38
 五
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
37
 一
万
一
千
円
 六
千
円
 四
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
36
 一
万
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
35
 五
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
34
 一
万
一
千
円
 五
千
円
 三
千
円
 二
千
円
 ●高
千
円
33
 五
千
円
 三
千
円

WEB 版非公開

千円 ●高定6
 千円 ●高定5
 千円 ●高定4
 千円 ●高定3
 二千円
 千円 ●高定64
 千円 ●高定63
 千円 ●高定62
 千円 ●高定61
 千円 ●高定60
 千円 ●高定59
 千円 ●高定58
 千円 ●高定57
 千円 ●高定56
 千円 ●高定55
 千円 ●高定54
 千円 ●高定53
 千円 ●高定52
 千円 ●高定51
 千円 ●高定50
 千円 ●高定49
 千円 ●高定48
 千円 ●高定47
 千円 ●高定46

WEB 版非公開

千円 ●高定41
 千円 ●高定32
 千円 ●高定31
 千円 ●高定27
 千円 ●高定25
 千円 ●高定24
 千円 ●高定22
 千円 ●高定21
 千円 ●高定19
 千円 ●高定18
 千円 ●高定17
 千円 ●高定13
 千円 ●高定12
 千円 ●高定11
 千円 ●高定10
 千円 ●高定9
 千円 ●高定8
 千円 ●高定7
 千円 ●高定4

WEB 版非公開

「桜塚新聞」を探しています

昭和40年代、学生運動が激しかった頃、大学のみならず桜塚高校においても校内集会や、学校側との討論会等が行われておりました。

当時、桜塚高校には新聞部が存在し、おおいにペンを奮っていた様子です。

しかし昭和も50年に入ると学生運動も下火となり、合わせるかのようにペンの力の存在も薄れていき、桜塚の新聞部も廃部となっております。

桜塚新聞には当時の時代、日々を語る記事が掲載されており、当時の出来事を掘り起こせる貴重な資料です。

思い出の箱とかに入れてませんか？

お持ちの方がおられましたらご連絡をお待ちしております。

なにぶん古い物ですので状態によっては郵送が不可能な場合もあります。

まずはご一報下さい。

(連絡先は尚和会まで)

千円 ●高定62
 千円 ●高定60
 千円 ●高定57
 千円 ●高定56
 千円 ●高定55
 千円 ●高定47
 千円 ●高定44

WEB 版非公開

	高女 1期～ 8期	併中 1期～ 2期	高 1期～ 65期	定 1期～ 63期	定通併修 1期～ 13期	旧職員	現職員	現職員 (定時制)	合計
会 員 数	2,062	229	28,549	4,461	144	840	55	37	36,377
物 故 者	509	18	933	119	0	189	0	0	1,768
住所不明者	309	45	8,083	2,422	36	250	3	0	11,148
住所判明者	1,244	166	19,533	1,920	108	401	52	37	23,461
判 明 率	85	80.3	71.6	45.2	75	70.2	94.5	100	69.3

尚和会会員数 (単位:人)

「卒業5年以内の皆様へ」

表紙にてご案内しております尚和会総会には毎年、懐しい担任の先生方も参加されています。

2009年(高61期 定59期)以降の卒業生の方は

会費は2000円です(半額)

ぜひ同期の方をお誘いあわせてのご参加をお待ちしております。

小型天体望遠鏡から大型天文台まで 教育機関、公共機関の天文台企画、設置工事



ニュージーランド テカポ湖



ハワイ マウイ島 ハレヤカラ



鹿児島県 輝北町



韓国 50cm反射式天体望遠鏡

協栄産業株式会社

〒530-0012 大阪市北区芝田2-9-18 TEL 06-6375-9701
 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5 TEL 03-3526-3366
 URL <http://www.kyoei-dome.com>

代表取締役 谷 元美 (高15期)

平成二十四年度総会・懇親会

行事担当副会長 高校15期 南 正枝

平成二十四年度の総会・懇親会は、五月二十日(日)に、ホテルアイボリーにて開催されました。

昨年より上田幸子(高十五期)さんの後任として、行事委員長に就任いたしましたのでよろしくお願いいたします。

さて、来賓、会員、アトラクション参加者を含め、東京支部長もお越し下さり、九十八名のご参加をいただき、大盛会の中で開催されました。

初めに、お世話になりました旧職員、同じ学び舎で青春を過ごされた同窓生の物故者に対して、出席者全員で黙祷を捧げました。

大畠会長の挨拶で、四月七日に、尚和会・学校共催の「しだれ桜」鑑賞会が開催され、事前のPRが出来なかったにもかかわらず、近所、通行人の方々に大変喜ばれた旨のご報告。茶道部のお茶会、箏曲部の演奏等を聴いて頂き、楽しいひと時を過ごさせて頂いたそうです。そして、恵風苑・恩露園もバリアフリーに改修されたので、気軽にお越しくださいますようにとの報告もなされました。

続いて小山校長からご祝辞を賜り、高校の区域制がなくなり、大阪府内どこからでも入学出来るように変わっていくこと、そして、人材バンクを作り、卒業生と在校生の交流を密に、生徒に刺激を与えて頂き、より素晴らしい桜塚高校にしていきたい等のお話を熱く語って下さいました。

その後、各委員会の事業計画、二十三年度決算報告、二十四年度予算報告、そして、新旧交代の役員紹介を大畠会長からいただき、新役員から旧役員に労いの花束贈呈が行われ、無事総会は終了。後半のアトラクション、懇親会へと移りました。

アトラクションは、桜塚高校卒業生の末廣孝子さん(高二十五)を含む八名の女性コーラス、神戸女学院大学音楽部声学専攻卒業生による女性アンサンブルを結成。合唱にとどまらず、独唱、重唱と多彩な編成で、宗教曲からポピュラーまで幅広いレパートリーをこなす「プティ・タ・プティ」のグループでした。ピアノ演奏は同じ神戸女学院卒の丸尾喜久子さん(高二十四)で、彼女の編曲の歌も聴かせていただきました。

幼少の頃を想い出す曲であったり、コミカルな曲であったりして、会場一杯楽しいひと時を過ごさせて頂きました。司会は、一昨年に引き続き五十七期生の柴田 綾さんにお越し頂き、爽やかに進行されました。少しずつテレビ出演もされ、今後の更なる活躍を祈っています。

引き続き懇親会がなごやかに始まり、皆さん久しぶりの旧交を温め、食事と会話を楽しんでいただきました。お楽しみ抽選会の後、最後に会場一杯に校歌を斉唱し、改めて桜塚高校の卒業生であることを誇りに思い、全員

記念撮影をして閉会いたしました。さて、平成二十五年度の総会は本年五月十九日(日)ホテル・アイボリーで開催いたします。今年のアトラクションは、高五十七期生の柴田 綾さんが組んでおられるユニット「とんぼりエンジェル」の出演で、昭和歌謡メロディやコントゲームを盛り込んだバラエティを考えて下さっています。

さらに、今年三月に卒業されました、桜塚高校軽音楽部の先輩の方々に演奏をしていただき、きつと楽しいひと時を過ごしていただけたと思いますので、お友達お誘いの上、一人でも多くご参加下さいますようよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十四年度 尚和会総会
総会式次第
一 開会の辞 大畠 会長
一 会長挨拶 小山 校長
一 来賓挨拶 大畠 会長
一 尚和会役員紹介 大畠 会長
一 平成二十四年度各委員会事業計画 執行委員会 山澤 副会長
一 尚和会 南 副会長
一 高五十七期生 高崎 副会長
一 平成二十三年度決算報告 財務委員会 中津 副会長
一 平成二十三年度会計監査報告 佐藤 副会長
一 平成二十四年度予算報告 財務委員会 中津 副会長
一 花束贈呈 大畠 会長
一 閉会の辞 大畠 会長

Table with 2 columns: Item Name and Person Name. Contains the agenda for the general meeting.



高15期生の皆さん



大畠会長挨拶



プティ・タ・プティ (女性アンサンブル)

編集後記

六年ぶりに、兼務ながら広報を担当し、会報発行業務に四ヶ月費やしたことになります。

二月に全くの不注意から、バイク事故を起こし、右足骨折、靭帯損傷。生まれて初めての経験でした。

会長職としての行事も二度ばかり欠席し、外出も儘ならなかったのが幸いしてか、自宅で引き籠り、原稿集め、入稿、校正の作業はじつくりと出来ました。

昨年に引き続き、今年の四月六日に予定していた母校での「しだれ桜観賞会」は、今年の桜の開花が思ったより早く、開催は一週間遅いのはと心配しましたが、生憎、荒天の予報が出て、急遽三日前に中止を決定、対応に追われましたが、来年こそは恵風苑、恩露園中心に開催できることを祈っています。

会報代、協力金振込用紙の通信欄に書かれたお便りを読んでいますと、年一度発行の会報を本当に楽しみに待たれている同窓生が多くいらっしゃることを知り、嬉しくなります。

尚和会役員を引受け十八年になります。母校を想う数多くの卒業生の存在は、役員としてこの上なく有難いことです。

どうか、尚和会活動、運営に関しての忌憚のない皆様のご意見をお待ちしています。

最後に、数多くの原稿をお寄せ下さった方々に、紙面をお借りして深く御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(兼) 広報委員長
高十五期 大畠 昭